

見城・桐原の追加資料DLは
367頁URLより可能です

二宮尊徳の民間事業の思想

幕末の実相と近代日本での新展開

-1-

二宮尊徳の 思想と方法



-2-

近代日本社会への
報徳思想の継受と
新展開



二つの「仕法」

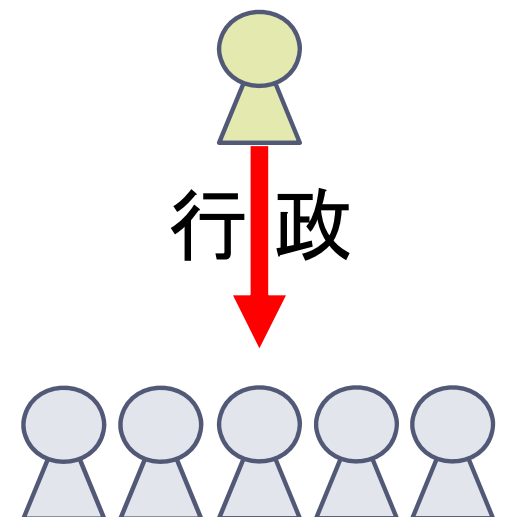
▶ 結社式仕法

- ▶ 西相模・福住正兄
- ▶ 遠江・岡田良一郎



▶ 行政式仕法

- ▶ 相馬藩士富田高慶
- ▶ 二宮尊親 + 斎藤高行



官民合作・報徳会 1905

▶ 内務**官**僚

▶ 地方改**良**運動

▶ 社会事業家・資本家

▶ 階級対立の**緩**和



- 3 -

渋沢栄一の見た
二宮尊徳／報徳
仕法



興國

安民法

富田高慶編『報徳論』1911

報徳論

目次

- 第一 論天道自然人道出作爲
- 第二 論國家盛衰安危在讓奪
- 第三 論興國安民在立分度
- 第四 論豐國富民在無利息金
- 第五 論闢荒蕪在上古道
- 第六 論治國安民主者道非臣者道
- 第七 論富貴不在天在定分行儉

- ▶ 論興國安民在立分度
- ▶ 『二宮先生語録』15条
 - ▶ 「国を興し、民を安んずべし」(既出)
 - ▶ 斎藤高行編